平成13(2001)年度　日本語一般コース報告

留学生センター　畝田谷　桂　子

1．はじめに———日本語一般コースとは？

留学生センターでは、全学の外国人留学生、外国人研究者、その家族を対象に、共通教育や大学院で実施する正規授業以外に、多くの日本語授業を提供している。これらの日本語授業は、「研修コース」と「一般コース」に大別される。「研修コース」は、主に大使館推薦国費留学生を対象とする、１学期間のインテンシブな大学院入学前予備教育である。この実施状況については、本報告書に詳細な寄稿があるのでそちらを御覧頂きたい。「一般コース」とは、この「研修コース」以外の、いわゆる日本語課外補講を核とする日本語授業群である。

「一般コース」は、本学の全ての外国人留学生（学部正規留学生を除く）、外国人研究者、その家族を対象としている。授業内容は１学期ごとに完結し、学生はあらかじめプレースメントテストで指定されたレベル内において、各々の日本語能力と時間の余裕に応じて、授業を必要なだけ選択して取ることができる。能力別に初級から上級の授業が提供され、技能別の授業も設けている。ただし、上級レベルの授業は、共通教育の日本語・日本事情科目（学部正規生である留学生を対象とする科目）を「一般コース」として、学部正規生以外の上級レベルの留学生や研究者に受講を許可している。

本稿では、次の順で平成13年度の「一般コース」の実施報告を行う。2. 開講時期、オリエンテーション、プレースメントテスト、3. 2000年度と2001年度の開講科目状況の比較、4. 2001年度の新しい試み、5. 各授業の開講場所、受講者数、修了者数、受講者の身分、専門・所属、国籍、6. 今後の課題

2．開講時期、オリエンテーション、プレースメントテスト

a．開講時期

例年４月、10月に新規留学生の多くが鹿児島にやってくるが、渡日時期の状況から、授業開始は毎年全学の正規の授業日程より少し遅くせざるを得ない状況となっている。本年度は、以下の日程で授業を行った。

前期：　4/16～7/27（15週間）　　後期：10/15～2/15（16週間）

b．オリエンテーション、プレースメントテスト

留学生センターでは、前期と後期の始めに丸１日をかけて、大学や生活全般、日本語プログラムについてのオリエンテーション、及び日本語授業選択の目安となるプレースメントテストを実施している。日本語プログラムの説明にあたっては、両学期とも日英語のパンフレットを配付し、例年どおり、全授業のレベル別リスト及び授業担当者、教科書、授業内容、受講規則及び修了認定規則、

教室配置図等を説明した。(前期:『SPRING 2001鹿児島大学日本語プログラム』『鹿児島大学留学生センター教育プログラム 平成13年度前期』、後期:『日本語プログラム一般コース』『日本語一般コースの概要 2001秋学期』)

本年度のオリエンテーションは、前期4/11、後期10/12に実施した。その後プレースメントテストの追加試験を、オリエンテーション時に受験できなかった学生を対象に前・後期とも2回ずつ実施し、(4/18, 25, 10/17, 24) プレースメントテストの受験者総数は、前期47名、後期28名となった。なおプレースメントテストには、例年初・中級用には筑波大学開発のSPOT B (Simple Performance-Oriented Test) と自作の文法問題、上級用にはSPOT Aと日本語検定協会のJ. Testの一部を使用している。

3. 2000年度と2001年度の開講科目状況の比較

前年度と今年度の日本語授業全体の開講科目状況(研修コースを含む)を、以下にレベル別週コマ数、年間開講週コマ数で示す。2000年度の数字は、1989年度からの開講状況の変遷をまとめた「鹿児島大学の日本語教育－その過去・現在・未来についての覚書－」(大嶋、中島「留学生センター報告書2001」)による。

年度	レベル　週コマ数	年間開講週コマ数	特記事項
2000	前期　後期 課外　初　級10　9 中上級7　12 水産　初中級2　2 共通　上　級4　3 研修コース　15	64	・4月留学生センター発足。 ・10月集中研修コース開始。 ・10月以降専任教官3名着任。
2001	前期　後期 課外　初　級11　13 中　級10　中級1　8 中級2　7 水産　初中級2　2 農学　中　級1　0 共通　上　級5　3 研修コース　15　研修コース　15	92	・4月農学研究科で科学技術日本語開講。(毎年前期のみ。後期は課外補講として開講。) ・10月中級2レベル設置。 ・10月総合教育研究棟の教室使用開始。

前年度と比較し、開講コマ数が年間30コマ増えた。これは研修コースの通年開講と、中級2レベルの設置を核とする中級レベルの充実による。中級2レベルを設けたことで、学生の能力に応じたきめ細かい教育を効果的に行える環境がさらに整った。また、年度内において、前期受講者数の少なかった漢字圏会話中級、漢字圏会話上級を1つに統合し、新たに非漢字圏の学生向けに漢字3の授業を設置するなど、後期のカリキュラム編成においても状況に応じて柔軟な対応を行った。

次に、今年度後期から総合教育研究棟の教室が使用可能になった。日本語一般コースは正規の単

位の出ない補講授業であるため、従来郡元キャンパスで使用可能な教室は、留学生センター開設後もセンター内の１教室（定員12名、一般コース授業科目の教室使用は、４時限以降のみ可能）だけであった。国際交流会館のホールを教室として使用していたため、カリキュラム編成にも制約があったが、教室問題の大幅な改善により、本年度後期からはレベル別によりわかりやすいカリキュラムが組めるようになった。

最後に、農学研究科の単位の出る「科学技術日本語」授業を前期のみ、新たに設けることができた。この授業は、後期には単位認定のできない科目として通年開講したが、単位の出る授業が新たに設けられたことは、日本語授業全体の単位問題の改善に向けた、大きな前進といえる。

本年度開講した授業科目は、15頁に（表－１）「レベル別開講科目一覧表（前期、後期）」としてまとめた。各授業の担当者、内容、教材等については、オリエンテーション時に配付した学生向けパンフレット『鹿児島大学留学生センター教育プログラム 平成13年度前期』、『日本語一般コースの概要 2001秋学期』を御覧頂きたい。紙面の都合上ここでは割愛させて頂くことにする。

４． 2001年度の新しい試み

上述の前年度との比較以外に、本年度は新たに以下の３つの試みを行った。

【１】留学生センターホームページを立ち上げ、日本語プログラムの情報を記載。

ホームページ立ち上げに際して、教育学部の中島先生、農学部の佐藤先生に頂いた多大な御尽力に対し、この場を借りて厚くお礼を申し上げたい。前期、後期とも日本語プログラムのみならず、オリエンテーション情報も含め、オリエンテーション当日に間に合うように、新学期の情報をホームページで流すことができた。

【２】シラバスの作成

本年度後期には、全ての授業担当者にシラバス（『日本語一般コースの概要 2001秋学期』に記載されている授業情報よりもっと詳しい、各授業についての情報）を作成してもらい、各々の初回授業で学生に配布してもらった。各授業のシラバスは、授業開始後留学生センターに集めて、いつでも学生に提示できるようにした。これにより、遅れて来日した学生や、興味のある授業について情報を得たい学生に、各クラスの詳しい情報を容易に提供できるようになった。

【３】学生による授業評価の開始

後期には、全ての授業担当者に、全授業に対して学生による授業評価をお願いし、留学生センターで回収した。授業評価にあたり、質問紙は留学生センターで統一したものを作成した。この授業評価の分析は、あらためて別稿にまとめることにする。

５． 各授業の開講場所、受講者数、修了者数、受講者の身分、専門・所属、国籍

前期と後期の各授業の開講場所、受講者数、修了者数、受講者の身分、専門・所属、国籍を16～19頁の（表－２）にまとめた。一般コースの受講者の特徴を、以下４点について考察する。

１）受講者数と修了者数

一般コースの受講者は、前期延べ180名、後期延べ199名であった。出席率80%、試験60%を修了条件とする修了者数は、前期延べ73名、後期延べ65名で、全受講者のそれぞれ40.6%、32.7%にあたる。学位取得を目指す多くの学生が、修了できない理由として専門科目の多忙さ、時間割りの重複等を抱えている。しかし、修了条件を満たせなくても可能な限り授業に参加し、日本語能力を伸ばす努力をしている学生が多い。一方、短期の留学生は修了条件を満たしやすい環境にあり、修了証を得て帰国することに意欲的である。

2）受講者の身分

前期、後期とも、学位取得を目指す大学院生、研究生が全体の60～65%を占めている（前期：大学院生40%、研究生25%、後期：大学院生29.6%、研究生30.2%）。次に多いのが短期等留学生で、全体の約20%（前期21.7%、後期20.1%）である。さらに家族が全体の約12%（前期11.7%、後期12.6%）、研究員が2～8%（前期1.7%、後期7.5%）となっている。

3）受講者の専門・所属

前期受講者の専門別割合は、多い順に、工学30.2%、農学19.5%、教育学13.8%、水産学12.6%、医学11.3%、法文4.4%、歯学3.1%、理学2.5%、他大学2.5%であった。後期は、工学22.4%、水産学19%、教育学18.4%、農学16.1%、医学14.9%、法文6.3%、理学2.3%、歯学1.2%の順であった。

これを開講場所で見ると、1）初級授業を開講している国際交流会館では、全ての専門の学生が受講していること、2）桜ヶ丘キャンパスに医学の学生が集中しており、郡元、下荒田キャンパスには皆無であること、3）下荒田キャンパスには水産学の学生が集中しているが、前期1名だった郡元キャンパスの水産学の受講者が後期には増加したこと、4）郡元キャンパスの受講者はしたがって、工学、農学、教育、法文の学生が主体となっていることがわかる。

さらに、外国人留学生の大学院別人数の割合（平成13年5月1日現在。留学生センター所属学生を除いた数字）と一般コースの受講者の割合を比較してみると、教育学の受講者が突出して多いことがわかる（大学院別人数の教育学の割合4.7%、日本語受講者中の教育学の割合16%）。

4）受講者の国籍

まず、最多の中国（台湾も含める）の受講者は、前期39.1%、後期43.2%である。これに韓国（前期5.6%、後期10.1%）を含めると、漢字圏の学生が全体のほぼ半数（前期44.7%、後期53.3%）を占めることがわかる。

非漢字圏の学生で最も多いのは、インドネシア（前期9.5%、後期6.5%）である。その他、タイ、オーストラリア、バングラデシュ、ミャンマー、ブラジルが前・後期ともに受講者の上位にあがっている。非漢字圏の地域別では、アジア、大洋州、南米地域が多く、アフリカ、中近東地域も数は少ないものの複数の受講者がいる。アメリカ（オランダ国籍）からは前期1名受講者がいたが、ヨーロッパ諸国からの学生は皆無であった。

5）その他の分析

紙面の都合上これ以上の分析はここでは省略するが、上記4点の考察の他に、レベル別、授業別の受講者の分析が可能である。本年度まとめた受講者の情報は、単年度だけではなく、毎年継続し、

集計結果を分析することによって、カリキュラム編成や授業内容の計画を立てる上での有力な材料となるので、継続して行うべきであろう。

6．今後の課題

まず、物理的にさらに教室環境を整えることが挙げられる。国際交流会館で行われている授業はまだ5授業あり、そこで教室として使用しているホールの環境は教育の場として決して十分とはいえない。会館各授業の受講者の身分割合を見ると、「家族」は、受講が多い初級1、2でも半数未満である。今後協定校が増え、短期留学生が増えると初級クラスの受講者となる可能性が高く、家族の受講割合が相対的に減少することも考えられる。単位の持ち帰りを希望する短期留学生も増えるであろうことから、授業環境を一層整える必要があり、郡元キャンパスへの教室の移行が望まれる。

次に、平成14年度後期から、日韓共同理工系学部留学生事業の受け入れ開始にともない、韓国人留学生に対する学部入学前予備教育としての日本語教育が始まる。これらの学生は各自の能力によって、一般コースのいずれかの授業を受講することになる。学部入学前予備教育に必要な日本語教育とは何なのか、今後考えていく必要があろう。

第三に、受講者の身分（大学院生、研究生、短期留学生等）、学習目的の多様性（短期留学か学位取得目的か、論文を日本語で書くことを求められているか否か等によって異なる、到達度として必要とされる能力）を把握し、各授業で多数を占める受講者の目的の傾向を踏まえ、教授項目の選定をしていかねばならない。

日本語受講者の身分や目的は、今後の本学の留学生受け入れ方針に大きく影響される。短期留学生（特に学部レベルの学生）が増えれば、初級、あるいは母国で日本語学習歴があれば中級程度の、日常レベルのコミュニケーション一般の能力を養う教育が求められるだろう。それらの留学生が母国の大学へ持ち帰れる単位の発行は、すでに検討を要する大きな課題である。また、現在60～65%を占める、学位取得目的の研究生・大学院生の存在も一方で確実に続いていくであろう。本学の現状で多数を占める、いわゆるアカデミックジャパニーズのトレーニングが必要なこれらの学生と、コミュニケーション一般の能力の育成が必要な短期留学の学生とでは、必要とする教授内容の違いが問題になる。また、アカデミックジャパニーズについては、まだその内容がはっきり定義されている段階ではない。効果的な教育のために、今後、必要な教授項目を選定していく作業も同時に行わなければならない。

最後に、受講者の目的を踏まえて選定した教授項目を、全プログラムに渡る視点から、能力段階別に配列して、各授業で扱う教授内容や、訓練する技能の割り振りを検討する必要がある。特にアカデミックジャパニーズのトレーニングのためには、「初級段階では一般的な日本語の能力を伸ばすだけでよし」といった視点から脱却し、初級の基礎項目を十分に踏まえた上で、さらに今一度受講者の学習目的を意識した効果的な授業設計を考える必要があろう。導入量はわずかでも、初級段階から語彙、例文、ドリルの場面設定等で様々な工夫を継続的に積み重ねていく必要があると考えられる。このためには日本語専任教官だけではなく、授業を担当していただいている全ての講師の方々

が日本語プログラム全体のカリキュラム構成とその教育目的を理解している必要があるし、また逆にそのためには、全ての担当者からの各授業やプログラム全体に対しての真摯なフィードバックが常に行われる環境を整えなければならない。

このように理想を掲げてみると先は遠いように思えるが、新たな取り組みやそれに費やした労力の向こうには、すぐに留学生の顔が浮かんでくる。日々教室で真剣に日本語を学びたいという留学生に接することが、我々全員の工夫の原動力になっていることは間違いない。歩みは遅くとも改善を重ね、学びの情熱によりよく答えられること、日本語教官全員に共通するこの思いを胸に、平成13年度一般コースの報告を締めくくる。

（留学生センター助教授）

（表－１）レベル別開講科目一覧表

平成13年度前期

<table>
<tr><th>初　級</th><th>中　級</th><th>上　級</th></tr>
<tr><td>郡元および国際交流会館
☆国際交流会館の授業
初級１☆
初級２☆
初級３☆
初級作文＆スピーチ
漢字圏会話初級
漢　字　1</td><td>中級会話
中級読解＆作文
中級作文☆
中級読解☆
漢字圏会話中級
漢　字　2</td><td>共通教育科目
日本語Ⅲ
日本語Ⅳ
日本事情Ａ
日本事情Ｃ</td></tr>
<tr><td>農学研究科</td><td colspan="2">科学技術日本語</td></tr>
<tr><td>水産学研究科</td><td colspan="2">日本語日本事情１
日本語日本事情２</td></tr>
<tr><td>桜ヶ丘日本語クラス
初　　級</td><td>中　　級</td><td></td></tr>
</table>

平成13年度後期

<table>
<tr><th>初　級</th><th>中　級１</th><th>中　級２</th><th>上　級</th></tr>
<tr><td>郡元および国際交流会館
☆国際交流会館の授業
初級１☆
初級２☆
初級３☆
初・中級作文☆
初級文法
漢　字　1</td><td>中級会話１
中級読解１
漢字圏会話中級
漢　字　2</td><td>中級会話２
中級読解２☆
中級作文２
科学技術日本語
漢　字　3</td><td>共通教育科目
日本語Ⅲ
日本語Ⅳ
日本事情Ｂ</td></tr>
<tr><td>水産学研究科</td><td colspan="3">日本語日本事情１
日本語日本事情２</td></tr>
<tr><td>桜ヶ丘日本語クラス
初　　級
初級文法</td><td>中　　級</td><td></td><td></td></tr>
</table>

（表－２）

平成13年度前期

科目	開講場所	受講者数	修了者数	受講者の身分					専門・所属								
				大学院生	研究生	短期等	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	他大学
初級１	国際交流会館	18	9	1	7	1	1	8	2	2	1	2	1	1	1	0	0
初級２		17	5	4	5	1	0	7	0	4	1	3	0	0	0	1	1
初級３		11	4	4	3	2	0	2	0	1	0	5	0	3	0	0	0
中級作文		10	3	3	3	3	0	1	2	0	0	4	0	3	0	0	0
中級読解		9	0	3	4	1	0	1	2	0	0	3	0	3	0	0	0
国際交流会館小計		*65*	*21*	*15*	*22*	*8*	*1*	*19*	*6*	*7*	*2*	*17*	*1*	*10*	*1*	*1*	*1*
中級会話１	留学生センター	17	7	7	6	4	0	0	7	1	0	4	0	2	1	2	0
中級読解・作文		12	7	5	4	2	1	0	3	0	0	6	0	1	1	1	0
漢字Ⅱ		15	13	4	1	10	0	0	2	0	0	6	3	2	1	0	1
漢字圏会話初級		2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
漢字圏会話中級		2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
科学技術日本語	農学研究科	12	10	10	0	2	0	0	9	0	0	3	0	0	0	0	0
日本語Ⅰ＊	共通教育一号館	7	7	3	0	4	0	0	1	0	0	2	1	3	0	0	0
日本語＊		6	5	3	0	3	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	
日本事情Ａ＊		6	6	3	0	3	0	0	1	0	0	3	0	2	0	0	0
郡元キャンパス小計		*79*	*59*	*38*	*12*	*28*	*1*	*0*	*25*	*1*	*0*	*28*	*6*	*12*	*3*	*3*	*1*
日本語・日本事情Ⅰ☆	水産学研究科	13	7	10	2	1	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0	1
日本語・日本事情Ⅱ☆		4	4	1	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
下荒田キャンパス小計		*17*	*11*	*11*	*4*	*2*	*0*	*0*	*0*	*12*	*0*	*3*	*0*	*0*	*0*	*0*	*2*
初・中級☆	医学部国際交流室	19	修了認定せず	8	7	1	1	2	0	0	16	0	0	0	1	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計		*19*	修了認定せず	*8*	*7*	*1*	*1*	*2*	*0*	*0*	*16*	*0*	*0*	*0*	*1*	*0*	*0*
総　計		*180*	*73*	*72*	*45*	*39*	*3*	*21*	*31*	*20*	*18*	*48*	*7*	*22*	*5*	*4*	*4*

注）１　数字は延べ数。

２　＊印の科目は、共通教育科目。数字は学部正規生（単位取得可能）以外の受講者数。

３　「漢字１」「初級作文＆スピーチ」「日本事情Ｃ」は受講者が研修コース生と学部正規生のみだったので、この表に含めなかった。

４　☆印の科目は、修了しても修了証を発行しない。

平成13年度後期

科目	開講場所	受講者数	修了者数	受講者の身分					専門・所属								
				大学院生	研究生	短期等	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	他大学
初級1	国際交流会館	18	6	1	3	2	5	7	2	1	3	2	0	2	0	1	0
初級2		18	6	2	8	3	3	2	3	3	2	4	0	4	0	0	0
初級3		13	4	2	7	1	0	3	2	3	1	2	0	2	0	0	0
初・中級作文☆		8	3	0	6	2	0	0	1	1	0	3	0	3	0	0	0
中級作文2		11	4	1	3	7	0	0	1	2	0	2	3	2	1	0	0
国際交流会館小計		*68*	*23*	*6*	*27*	*15*	*8*	*12*	*9*	*10*	*6*	*13*	*3*	*13*	*1*	*1*	*0*
初級文法☆	総合教育研究棟	5	2	2	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0
中級会話1		18	6	6	9	2	0	1	4	2	0	4	0	6	0	1	0
中級読解1		10	5	0	7	2	0	1	3	1	0	1	0	3	0	1	0
漢字圏会話中級☆		7	2	3	3	1	0	0	2	0	0	2	0	3	0	0	0
漢字1＊＊		1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字2		6	4	0	3	2	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
漢字3		10	5	4	1	5	0	0	2	2	0	3	2	0	1	0	0
中級会話2		12	3	4	3	4	0	1	3	0	0	4	2	2	0	0	0
中級読解2		7	4	2	0	4	0	1	1	2	0	2	1	0	0	0	0
科学技術日本語☆		9	3	5	1	2	1	0	3	0	0	4	0	2	0	0	0
日本語Ⅲ＊	共通教育1号館	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
日本語Ⅳ＊		4	0	1	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
日本事情B＊		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡元キャンパス小計		*93*	*35*	*30*	*28*	*26*	*1*	*8*	*19*	*9*	*0*	*26*	*8*	*19*	*1*	*3*	*0*
日本語・日本事情Ⅰ☆	水産学研究科	9	1	8	1	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
日本語・日本事情Ⅱ☆		5	1	3	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
下荒田キャンパス小計		*14*	*2*	*11*	*3*	*0*	*0*	*0*	*0*	*14*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*
初・中級☆	医学部国際交流室	16	修了認定せず	8	2	0	4	2	0	0	14	0	0	0	0	0	0
初級文法☆		8	5	4	0	0	2	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計		*24*	*5*	*12*	*2*	*0*	*6*	*4*	*0*	*0*	*20*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*
総　計		*199*	*65*	*59*	*60*	*41*	*15*	*24*	*28*	*33*	*26*	*39*	*11*	*32*	*2*	*4*	*0*

注）1　数字は延べ数。

2　＊印の科目は、共通教育科目。数字は、学部正規生（単位取得可能）以外の受講者数。

3　＊＊印の科目は、研修コース受講生以外の受講者数。

4　☆印の科目は、修了しても修了証を発行しない。

平成13年度前期　受講者の国籍

科　　目	受講者数	国籍																
		中国	台湾	インドネシア	タイ	オーストラリア	韓国	バングラデシュ	ミャンマー	コロンビア	ブラジル	アルゼンチン	パキスタン	グァテマラ	オランダ	イエメン	ベトナム	フィリピン
初級１	18	8	0	0	3	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0
初級２	17	4	0	3	0	0	1	3	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0
初級３	11	5	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中級作文	10	5	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
中級読解	9	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
国際交流会館小計	*65*	*27*	*0*	*8*	*3*	*4*	*2*	*5*	*2*	*2*	*0*	*0*	*4*	*1*	*2*	*2*	*0*	*0*
中級会話１	17	8	0	2	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1
中級読解・作文	12	6	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
漢字Ⅱ	15	0	0	1	1	3	1	0	0	0	3	2	0	1	1	1	0	0
漢字圏会話初級	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字圏会話中級	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科学技術日本語	12	9	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語Ⅰ＊	7	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本語Ⅱ＊	6	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
日本事情Ａ＊	6	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡元キャンパス小計	*79*	*32*	*0*	*6*	*7*	*7*	*6*	*0*	*2*	*0*	*6*	*4*	*0*	*1*	*2*	*1*	*1*	*1*
日本語・日本事情Ⅰ	13	2	1	2	1	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	0	1	0
日本語・日本事情Ⅱ	4	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
下荒田キャンパス小計	*17*	*3*	*1*	*3*	*1*	*0*	*0*	*0*	*3*	*2*	*0*	*1*	*0*	*2*	*0*	*0*	*1*	*0*
初・中級	19	5	2	0	1	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
桜ヶ丘キャンパス小計	*19*	*5*	*2*	*0*	*1*	*0*	*2*	*2*	*0*	*2*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*1*
総　　計	*180*	*67*	*3*	*17*	*12*	*11*	*10*	*7*	*7*	*6*	*6*	*5*	*4*	*4*	*4*	*3*	*2*	*2*

以下各１名

エジプト
パプアニューギニア
カンボジア
パナマ
ホンジェラス
ボリビア
ペルー
モンゴル
イラン
ネパール

注）１　数字は延べ数。

注）２　＊印は共通教育科目で、数字は学部正規生（単位取得可能）を除いた数。

平成13年度後期　受講者の国籍

科　　目	受講者数	国籍																	
		中国	台湾	韓国	インドネシア	ブラジル	フィリピン	オーストラリア	ミャンマー	タイ	バングラデシュ	メキシコ	イラン	イエメン	パキスタン	エジプト	ベトナム	トルコ	アルゼンチン
初級１	18	10	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0
初級２	18	10	0	0	2	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0
初級３	13	3	0	1	1	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0
初・中級作文	8	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
中級作文２	11	3	0	4	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際交流会館小計	*68*	*30*	*0*	*7*	*6*	*3*	*5*	*0*	*1*	*2*	*4*	*2*	*1*	*1*	*0*	*3*	*0*	*1*	*0*
初級文法	5	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
中級会話１	18	8	0	3	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
中級読解１	10	4	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
漢字圏会話中級	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字１	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢字２	6	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
漢字３	10	1	0	0	0	3	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
中級会話２	12	6	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中級読解２	7	1	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科学技術日本語	9	4	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語Ⅲ＊	4	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本語Ⅳ＊	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
郡元キャンパス小計	*93*	*36*	*0*	*12*	*4*	*8*	*4*	*8*	*4*	*4*	*0*	*3*	*0*	*2*	*3*	*0*	*0*	*1*	*1*
日本語・日本事情Ⅰ	9	3	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
日本語・日本事情Ⅱ	5	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
下荒田キャンパス小計	*14*	*4*	*1*	*0*	*3*	*0*	*1*	*0*	*2*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*2*	*0*	*1*
初・中級	16	8	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
初級文法	*8*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計	*24*	*13*	*2*	*1*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*2*	*0*	*3*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*
総　　計	*199*	*83*	*3*	*20*	*13*	*11*	*10*	*8*	*7*	*6*	*6*	*5*	*4*	*3*	*3*	*3*	*2*	*2*	*2*

以下各１名

コロンビア
ヨルダン
カンボジア
ネパール
モンゴル
ボリビア
ペルー
日本

注）１　数字は延べ数。

注）２　＊印は共通教育科目で、数字は学部正規生（単位取得可能）を除いた数。